

THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO-GREEN

東京グリーン

CHARTERED 1973

< 2019.04 >

BULLETIN

2018年7月～2019年6月



国際会長
アジア会長
東日本区理事

関東東部部長
クラブ会長

Moon Sang Bong「私たちは変えられる／挑戦への勇氣」(韓国)
田中博之「アクション／誇りと喜びを持って」(東日本区)
宮内友弥「為せば、成る／ワイズが何をしてくれるかではなく、あなたがワイズ
に対して何が出来るかを考えて実行しよう」(東京武蔵野多摩)
衣笠輝夫「良いものを見つけ、つなげて、よくなろう」(埼玉)
佐野 守「希望を持って前進」(グリーン)

会 長 佐野 守
副 会 長 西澤 紘一
々 浅見 隆夫
書 記 布上征一郎
会 計 柿沼 敬喜
副 会 計 浅見 隆夫
担当主事 木村 卓司

4 月 イースター

「なぜ、生きておられる方を死者の中に捜すのか。あの方は、ここにはおられない。復活なさったのだ。まだガリラヤにおられたころ、お話しになったことを思い出さない。

(ルカによる福音書24:5-6)

2019年04月 第一例会

LT 強調月間

日時:2019年04月17日(水) 18:30~20:30
場所:東陽町センター 1階 YMCAホール
江東区東陽 2-2-201 TEL03-3615-5565
受付:浅見ク君/司会:樋口君

4月はLT(Leadership Training)の強調月間です。それに先立ち、東日本区では、次期会長・部役員研修会を、3月9~10日オリンピック記念青少年総合研修センターで開催いたしました。次年度のワイズ活動をリーダーとして担ってくださる100余名の皆さんの熱い語らいの場が持たれました。

開会点鐘 佐野会長
ワイズソング・ワイズの信条 全 員
聖句・お祈り 古平君
ゲスト、ビジター紹介 佐野会長
食事(一言添えてニコニコ献金)
メンバーフリートーク 全 員
「東日本区 EMC アンケートに関して」
~2022年をゴールとする中期会員増強運動~

ワイズの高齢化、そしてそれに伴う会員減少という状況のなかで、EMCを区をあげて全力で取り組むべく、EMC中長期委員会が発足いたしました。

ビジョンを掲げ活動の実践を行ううえで、まず、重要なことは、メンバー個々の意識です。

各委員会報告 事業委員長
YMCA情報 木村君
Happy Birthday
(4月は該当者なし)
ニコニコ発表 浅見ク君
閉会点鐘 佐野会長

自分が主役と言う意識でクラブに参加しましょう。魅力ある楽しい例会、充実した奉仕活動、それを作る担い手はあなたです。誘われるのではなく誘い手になりましょう。皆さんが誇りと情熱をもって活動するその先にワイズの未来が開かれます。 A Time for Action!

今こそ行動のときです!

<東日本区LT委員長 北村文雄>

(理事通信4月1日号より転載いたしました 布上)

【例会出席率】 在籍:18名 メーキャップ2名 出席率 14/18 78%
出席:2019年03月例会 (メン12名、メネット1名、ビジター1名 計14名)
3月例会 ニコニコ献金 13,000円 (今期累計 76,100円)

＜2019年03月 第一例会 報告＞

日時:2019年03月20日(水) 18:30~20:30
場所:東陽町センターYMCA ホール
出席:青木・浅見(ク)・浅見(隆)・柿沼・木村・佐野・西澤
西本(東)・西本(晃)・布上(征)・根本・森川
布上(信)メネット 13名
ビクター: 金丸満雄関東東部会員増強事業主査
(ゲストスピーカー)



本日の例会にお招きしお話を伺ったのは、東京ひがしクラブ会長 金丸満雄メン。

3月10日の「ピースウォーク」にグリーンからも浅見メン、柿沼メン・メネットが参加し、4月の例会で卓話をいただけないかとお話し実現した

もの。ご本人曰く、30年のワイズ歴ですが、例会の卓話なるものは初めてで、また、PPTを使つてのプレゼンも今回が初めて・・・とか謙遜されていましたが。お話を伺っていて、堂々とした、素晴らしい講演で、使われている画像も懐かしいものが多く、感動しました。



昭和20年3月10日 B-29の大編隊が数百機襲来、東京の下町一帯、江東区、墨田区、台東区に低高度で約2000トンもの焼夷弾で絨毯爆撃を行った。東京大空襲の始まりです。その後の原爆投下による敗戦まで、日本は全土において壊滅的な破壊をされたわけですが、この悲惨な戦争を「風化」させないよう



うにと、1944年、当時東京YMCAで行われていた「ミニ平和博」の中で第1回「ピースウォーク」がスタートした。提唱者は鈴木健次氏。以来、今回で25年目、東京ひがしクラブのメインプログラムになっている。

江東区にある数々の戦災慰霊碑、多数の観音像、お地蔵さんを巡り、歩き疲れた後には東陽町センターで暖かい「豚汁」をいただく。近年は並行して「ピースコンサート」も行い、参加していただく方々に喜ばれればと考えている。懐かしい画像をたっぷり拝見して終了となった。

例会でのメンバー一言スピーチで西本メンご夫妻からとてもいいお話をうかがった。ご夫妻は最近、毎月日本のどこかいいところへ数泊の旅行をしよう、と決めたそうで、前月は「道後温泉」に行った。4月は「弘前の桜」を観に行く予定とか・・・毎月の旅行とは、素晴らしいですね。(布上記)



＜2019年03月 第二例会報告＞

日時:2019年03月13日(水) 18:30~20:00
場所:千代田区和泉橋区民館
出席:青木・浅見(ク)・浅見(隆)・佐野・柿沼・高谷
西澤・布上(征) 8名
配布資料: 東日本区理事通信3月1日号
報告・連絡事項

- ① 2月TOF例会で 根本幸子さん入会式 衣笠関東東部長、金丸会員増強事業主査立会い
- ② 2月23日(土)陽春のつどい 来客にお餅を振る舞う女性陣参加を!
- ③ 3月2日(土) 第20回 Libbyコンサート
- ④ 3月10日(日) 第25回ピースウォーク開催
- ⑤ 3月9日~10日 次期クラブ会長・部役員研修会 代々木オリンピック青少年センター 西澤次期会長出席 <4月ブリテン記載>
- ⑥ 次次期関東東部 部長選出 <部長 柿沼/部書記 布上/部会計 佐野>

審議・協議事項

- ① 3月23日(土) 東京サンライズクラブ30周年記念例会 於:ブラッセリー東洋(日本橋) 出席:青木・浅見 T・布上 S <4月ブリテン記載>
- ② 4月11日(木) 第29回東京YMCAチャリティーゴルフ/佐野・柿沼・西本(晃)・浅見・布上参加 PGM総成ゴルフクラブ
- ③ 4月27日(土) 川越クラブ20周年記念例会 於:川越東武ホテル 会費 8000円 出席予定:青木・柿沼・佐野・布上 S
- ④ 6月1日(土)~2日(日) 第22回東日本区大会/代々木オリンピック青少年センター 参加者:青木・浅見 T・木村・柿沼・佐野・布上 N・布上 S・目黒
- ⑤ 7月19日(金)~21日(日) 第28回アジア太平洋地域大会 仙台国際センター 参加者:青木・柿沼・布上 S
- ⑥ 卓話者候補 3月例会で、金丸満雄メンの卓話「ピースウォークの話」 決定
- ⑦ 2019年会員芸術祭 日程決定 期間 6/22~29 6/22 10:00~:会場設営 14:00~:オープニングセレモニー(イヴェントはウクレレ演奏) *展示用ボード(パーティション)の清掃 5月18日(土)10:30~
- ⑧ 神田川船の会委員会での討議事項/ 2月13日の委員会報告内容と同様 木村主事にチラシの大幅増刷を依頼、各所に配布する

(布上 記)

クラブの円滑な運営のため、年会費をお納め下さい
京葉銀行 こてはし台支店(435) (普)6614121
口座名 東京グリーンワイズメンズクラブ

会計 柿沼敬喜

次期会長・部役員研修会に参加して

次期会長 西澤統一

2019年3月9日から10日の2日間、代々木の国立オリンピック記念青少年総合センターで題記の研修会が持たれた。都内の利便性の良い会場であったことで100名近くの参加者が集った。

宮内東日本区理事の開会あいさつで始まり、次期理事である山田氏から役員紹介があった。この研修会を仕切っていただいたのは、北村 LT 委員長以下メンバーの方々であった。主な課題を挙げると：

1) ワイズの現状と経緯

現区理事である宮内友弥氏から東日本区の現状が話された。最優先課題は会員の増強であることと言う。2017年当初に比して2019年1月の会員数、クラブ数とも漸減している。奇しくも2020年度は国際ワイズメンズクラブ発足から100年目を迎える。そのためにも会員数、クラブ数の増強に注力したい。方策として、EMCメンバーをある程度固定する事(継続性)、5人新クラブ成立要件(経済的支援可)、広報活動(SNSの利用)の活発化、キリスト教色を薄める(Cをバリアにしない)などの勧めがあった。

2) 2019年度活動方針：

次期理事である山田敏明氏から次年度の活動方針が述べられた。氏の所属する十勝クラブは、4月から始まるNHK朝ドラの『なつぞら』の舞台となる地域である。2020年度の23回東日本区大会が十勝で持たれる。100周年を見据えて、勇氣ある改革を進めたいとのこと。特に強調されたのは、YMCAとの関係強化(YMCAの支援に徹すること、②社会的認知度のアップ(ブランディングの普及、③Cの理解と意義(クラブメンバーのC率が20%未満であること)、④メネット事業の活性化(女性会員の増強)などを挙げて、常にワイズの基本に戻りつつ、周りの変化に気付き、さらに連帯を深めてゆくことに留意したいと結論づけられた。

3) 森田恵三氏(区38代理事)が基調講演(9日午後)80歳を超えてもなお元気でワイズに対する情熱を持っておられることに感銘を受けた。1971年京都ワイズを立ち上げ、京都ウエストなど多くの新クラブの創成に貢献され、現在隆盛を極めている京都におけるワイズ活動の原点を作られた。会員の漸減傾向を憂慮されており、クラブの在り方を再検討すべきだと述べられた。ワイズ活動とは地域社会への貢献がキーであり、仲間を信じてそれぞれの立場で地域のため若者のために働くことが大切であると結ばれた。

4) 会員の増強について(パネル討論)

新会員の勧誘と現状会員の維持が必要である。入会に際しては、本人の自由意志を尊重すべきである。一方で、現クラブの運営法を改善すべきであろう。クラブの魅力を上げるための方法論(例えば出欠確認、バッジ装着、ソング、会員同士の対話、入会式の演出、多様性など)を検討すること。特に退会者の防止にも気を使うべきであろう。対話深化、雰囲気作り、役割分担など手を尽くしてほしい。

特に栗本氏(前区理事:熱海クラブ)からは、宮内氏のアピールを敷衍して、具体案が提案された。特筆すべきことは、区内のすべての61クラブがSNS発信することで、その結果、新人勧誘、認知度アップ、クラブ同士の交流活性化などが実現できると主張された。クラブの公式PCで

の初期設定に関しては、区が面倒を見るつもりである。またCカラーの希釈化については、賛否両論がありそれぞれのクラブに対応を任せることで治まった。

当クラブでも検討を要する課題は：

会員増強に対する取り組み、YMCAとの関連強化(特にユース事業)、SNSの利用とPRの3点であろう。新しい年度に向けて話し合っただけでいい。(西澤 記)

東京サンライズクラブ

設立30周年記念例会

2019年3月23日(土)12:00、日本橋:ブラスリー東洋で開催されました。東日本区各クラブ、DBC東広島、京都プリンス、IBC台北ユニオン、各クラブを含め90名弱のワイズが参加しました。

第1部記念例会。祝辞(アジア太平洋地域会長、東日本区理事、大谷会長の歓迎挨拶、親クラブ、山手クラブの機能ワイズの祝辞と続き、東京サンライズの30年のあゆみを小山久恵ワイズがパワーポイントで説明された。サンライズクラブの精力的なワイズ活動の数々がよくわかり、感心させられました。

第2部は祝会・懇親会。食事の半ばで、「童謡100周年に寄せて～北原白秋を歌おう～」という朗読・歌の余興がありました。

祝会の締めは浅見隆夫元理事の「一本締め」できれいに閉会となった次第です。

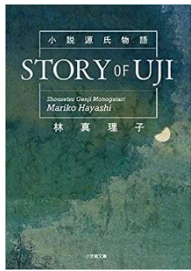
グリーン出席者は青木・浅見(隆)・布上の3名でした。

(布上 記)



ブリテン図書室

STORY OF UJI 林真理子 小学館文庫 2018年



源氏物語は、全54帖で構成される紫式部が描いた長編物語である。最期の10帖は、光源氏の死後のエピソードであり、宇治十帖とも呼ばれている。当代切っ子の売れっ子作家の一人である林真理子が独特の語り口で古の人間模様を見事に現在によみがえらせた。光源氏の異母兄弟に当たる桐

壺帝の八の宮は、政争に巻き込まれた後、仏門に帰依しつつ静かに田舎で暮らしていた。彼の2人の娘がこの物語の主人公である。一方、都のエリート貴族である薫と匂宮がこの娘達を偶然知る処となり、事件が起こる。薫は、女三の宮の息子であり、匂宮は、今生天皇の第3皇子であった。彼の母親は天皇の中宮、明石の宮との間の娘(天皇に嫁ぐ)の子供である。従って、光源氏の孫にあたる。光源氏が失意の時に出会ったのが明石の宮であった。当時の貴族は都の中心に存在することに価値があり、ひなびた場所に居る隠れた美女を発見することがエリート男子の見栄でもあった。

2人のエリートたちは、2人の娘の内、姉をアタックして結局彼女を死に追いやることになってしまう。その後、残った妹の争奪戦になるが、そこに2人の姉妹の異母兄弟に当たる浮舟が現れる。再び浮舟を巡って2人のエリートが争うことになる。最終の場面で匂宮が、薫に対抗してさらうようにして浮舟を船に乗せ宇治川を渡ってゆくシーンが印象的である。

宇治10帖は、光源氏が現役の時代に明石の宮、夕顔、若紫など多くの美女を誘拐する如く連れ去っていた過去があり、その息子、孫の世代も同じようなことを繰り返している平安太平期の倦んだ貴族生活を描いている。

平安期のエリート階級の男たちが、美人女性を財貨のように奪い、奪われると言う物語を当時の被害者側に立つ知的女性が描いたことに驚く。この小説全体では、女性と男性、都会と田舎、高い身分と低い身分、時の人と忘れられた人などコントラストを利かせて当時の愛憎を描いている。ただし、最後の男女の愛の交わり部分では、男女対等の平等性を謳っており現在でも十分通用し共感を得られるストーリー立である。

歴史や古文の世界で紫式部の『源氏物語』を学ぶことはあっても小説の内容まで深く読み解く機会は少ない。作者林真理子は、古典であるこの小説の最後のエピソードを取り上げて彼女なりの解釈と描写で見事に現在によみがえらせた。出てくる人物が複雑で、何の宮であるか、誰の子であるかなど何度も読み返さないと系譜が良く分らなくなる。膨大な数の人物を登場させ、しかも複雑な人間関係、それぞれの人物の個性・心情を詳細に描き出すと言う原作者紫式部の力量に感銘を受ける。

あまり期待せずに本屋で手に取り、読んでみたら一気に最後まで手が離せなかった。お暇なら一読をお勧めする。(西澤絢一 記)

YMCA コーナー

▲ 3月4日(月)~10日(日)、「東京大空襲(1945年3月10日)の体験画展」を東陽町コミュニティーセンターロビーで開催しました。いのちや平和の大切さを訴えたいと昨年8月に開催した「ヒロシマ・ナガサキ原子爆弾の記録パネル展」に次ぐ第2弾です。東陽町コミュ



ニティーセンターがある深川地域での惨状を描いた絵画100点は、静かに戦争の悲惨さといのちの大切さを私たちに訴えかけました。連日会館を訪れる多くの方が足を止め、熱心

に絵に見入っていました。

▲ 東京ひがしワイズメンズクラブは毎年3月、地域の方々と共に、深川地区の東京大空襲戦災慰霊碑を巡る「ピースウォーク」を実施しています。今年はその25回目を記念して、ウォーク終了後「ピースコンサート」を東陽町コミュニティーセンターと共催で実施しました。アイリッシュハープや馬頭琴の音色にのせた平和への祈りが、会場に響き渡り、参加者は皆、「戦争は嫌だ、二度と起こしたくない！」という思いを強くしました。



▲ 2019年7月より、世田谷区船橋で新しく「YMCA保育園ねがい」をスタートします。既存の「世田谷区立希望丘保育園」の園舎をリニューアルして、0歳から就学前児まで79人(定員)の子ども達を受け入れる予定。なお、21年間、世田谷区奥沢で運営してきた公認保育室「YMC Aチャイルドケアセンター」は、3月末をもって閉園しました。

▲ 今後の主な行事予定

・第29回チャリティーゴルフ大会

4月11日(PMG総成ゴルフクラブ)

・第23回高石ともやバングラデシュ奨学基金
チャリティーコンサート 4月13日

(日本基督教団浅草教会)

・第17回会員大会 5月25日(山手センター)

(担当主事 木村 記)